

大阪公立大学都市科学・防災研究センター
先端都市特別研究員（若手）募集要項（2023年度10月採用分）

大阪公立大学都市科学・防災研究センター（UReC）は、文部科学省共同利用・共同研究拠点「先端的都市研究拠点」に認定されています。その一環として、本センターの所属教員の指導の下で、国際水準の先端的都市研究に取り組む若手研究者の研究活動を支援することを目的として、「先端都市特別研究員（若手）」を採用しています。つきましては、2023年度10月採用分について、下記のとおり募集します。

記

1. 公募人数

若干名

2. 業務内容および研究費と待遇

- 1) 先端的都市研究拠点に所属する受入研究者が主宰する「受入研究プロジェクト」と密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行します。別表「受入研究プロジェクト・研究者一覧」を参照のうえ申請書類を作成してください。
- 2) 研究期間は採用日（2023年10月1日）から2024年9月30日までです。この期間中に遂行できる研究計画を作成してください。
- 3) 拠点事業の一環として開催される合評会（特別研究員研究発表会）において、研究発表をしていただきます。また、拠点事業に関連した企画及び実施運営にも参画していただきます。
- 4) 研究費を支給します。支給額は、UReCの予算が確定した後、研究計画の査定に基づき決定します。本拠点から受給される研究費の額が200,000円以内に収まるように研究計画を作成してください。
- 5) 研究費は大阪公立大学の経費支出基準に基づき執行されます。
- 6) 研究活動結果報告書および決算報告書を、各年度末に提出していただきます。
- 7) 給与は支給されません。
- 8) 「特別研究員」という名称は変更される可能性があります。

3. 応募資格

- 1) 次の①～③のいずれかに該当する者。
 - ① 博士後期課程（博士課程）に在籍中の者
 - ② 博士号を取得するために必要な単位を取得済みでありかつ博士論文を執筆中の者
 - ③ 博士号取得済みの者。
- ※ 大阪市立大学都市研究プラザで有給の特別研究員を務めた経験がある方は、いずれの区分にも応募することができません。また、博士号取得前に大阪市立大学都市研究プラザで研究費のみが支給される特別研究員を務め、その後、博士号を取得した方は、いずれの区分にも応募することができます。

4. 提出書類

- 1) 申請書
 - 2) 受入研究者による承諾書
 - 3) 現在の指導教員による推薦書
- ※ いずれも所定様式を用いること。ご自身が参画する予定の「研究プロジェクト」に対応する「受入研究者」の承諾を事前に得てください。加えて、現在の指導教員による推薦状が必要です。両者が同一の方でも構いません。

5. 応募方法

- 1) 募集期間：2023年8月16日（水）～8月30日（水）17:00必着

- 2) 郵送または持参による応募：下記送付先宛に提出してください。その際、封書に「都市科学・防災研究センター特別研究員（若手）応募書類在中」と朱書きください。提出された書類お返却致しません。
- 3) 電子メールによる応募：提出書類を PDF ファイルとして、下記メール・アドレス宛に送信して下さい。このとき、件名を「2023年度都市科学・防災研究センター特別研究員（若手）応募書類送付」としてください。

6. 選考方法

都市科学・防災研究センター特別研究員選考委員会が、提出された書類に基づき選考します。書類審査の結果は2023年9月13日（水）に発送します。

以上

【問い合わせ・出願書類送付先】

大阪公立大学都市科学・防災研究センター 先端的都市研究拠点事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL：06-6605-2071

E-mail：urec-joint_office@ml.omu.ac.jp

【別表】先端都市特別研究員（若手）受入研究プロジェクト・受入研究者一覧

研究プロジェクト		受入研究者
1	Transformation in the modern capitalism and cities 現代資本主義と都市の変容	立見淳哉
2	Urban policies, administration and finance in super-aging and depopulating societies 人口減少・超高齢社会における都市政策・都市行財政	阿部昌樹
3	Dialogue between East Asian cities toward recognition to cultural diversity and social inclusion 文化的多様性の承認と社会的包摂に向けた東アジア都市間対話	全泓奎
4	Multi ethnic (cultural) symbiosis society and socially inclusive arts management 多民族（多文化）共生社会と社会包摂型アート&アーツマネジメント	中川眞
5	Clinical musicology research: building a place for dialogue in sound and words with people with and without learning difficulties 臨床音楽学研究：知的障害者を含む音と言葉による対話の場の構築	沼田里衣
6	Invention of a model of support to disabled people aiming at revitalization of multigenerational regional communities 多世代共生型地域再生のための障害者支援モデルの開発	内田敬
7	Revitalization of cities in a resilient way with the utilization of architectural stock: a study of row houses in Osaka and modern architecture 建築ストックの活用によるレジリエントな都市再生—大阪長屋と近代建築を対象に	嘉名光市
8	Disaster resilient communities and housing 災害に対してレジリエントなコミュニティと住宅	生田英輔
9	Division and Conflict: Structure of Discrimination 分断とコンフリクト—差別の構造	野村恭代